



まなび体験セミナー第3回講座 認知症をまなぶ講座①



## 「認知症サポーター養成講座」を開催

10月29日(金)10時より美旗地区まちの保健室職員、太田さんと岸さんを講師に招き「認知症サポーター養成講座」を開催しました。(24人参加)

認知症は、いろいろな原因で脳細胞が死んでしまうことにより様々な障害が起こる病気で、その代表的な病気は、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症です。

認知症の記憶・見当識障害(日時や場所、人の見当がつけられない)は、「中枢症状」とよばれ治ることがなく進行していくが薬によって進行を遅らせることができます。また、心の状態や性格、環境によって出る症状は「行動・心理症状(BPSD)」とよばれ、周りの人の助けがあれば改善される症状であるということを知りました。更に、物忘れ(記憶・見当識障害)や、人を疑う精神症状(行動・心理症状)に対しての理想的な対応の仕方を動画で見ることによって、具体的にわかりやすく学ぶことが出来ました。

認知症に早く気づくことのメリットや、認知症の人への対応の心得「3つのない」、認知症の人へ接するときの7つのポイント(下記参照)なども教えていただきました。

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気です。まずは、正しい知識をもち、「見守る」「気持ちを理解しようと努める」ところから始め、少しでも認知症やその家族のかたに寄り添う事が出来ればと感じました。



### 認知症の人へ接し方 “3つの「ない」”

1. おどろかせない
2. 急がせない
3. 心をきずつけない

### 接し方の7つのポイント

1. まずは見守る
2. あわてずえがおで
3. 声をかけるときは1人で
4. 後ろから声をかけない
5. やさしく話す
6. おだやかに、はっきりした話し方で
7. 相手の言葉をよく聞き、  
ゆっくり接する



## 第1回 美旗市民大学講座 開催

11月1日(月)午後7時から、美旗市民センター多目的ホールにて、今年度最初の美旗市民大学講座が開催され40名のかたが参加されました。

美旗地区の小波田で受け継がれてきた「名張子ども狂言の会」は創立30周年を迎えます。まず同会顧問の森本孝子さんから、子ども狂言の立ち上げのお話をお聞きしました。森本さんがご幼少の頃に大蔵流の狂言を習っていたご縁で茂山七五三(しめ)さんが京都から名張にご指導に来ていただくことになったことや、その後、子どもたちがアメリカへも狂言を披露しに行ったことなどの歩みを教えていただきました。

次に「美旗で受け継がれてきた子ども狂言に触れる」と題して、大蔵流狂言師の茂山宗彦(しげやまもとひこ)先生を講師にお迎えしました。茂山先生はお父さんと共に30年の長きにわたり、名張子ども狂言の会指導者として、はるばる京都からこの美旗の小波田の地まで毎月1~2回お越しいただいています。この日も子ども狂言の会の後見人としてご指導いただきました。また「しびり」の解説もしていただき、内容をわかってから見たので、面白さも倍増でした。(\*´艸`)子どもたちが一生懸命に謡いをするのも本当に可愛らしかったです。最後に同会会長の竹島美加子さんに子ども狂言の会への熱い思いのこもった閉会のあいさつをいただきました。



11月7日(日)は観阿弥祭が開催されます。その際には上小波田の観阿弥ふるさと公園の能舞台で演じます。装束をつけて練習の成果を出せるように頑張ってください。

\*狂言プチ知識：太郎冠者(たろうかじゃ)とは第一召使だそうです。



### 美旗市民センター主催事業 11~12月

11月	1日(月)	19:00	第1回美旗市民大学講座 「美旗で受け継がれてきた子ども狂言に触れる」
	5日(金)	9:30	まなび体験セミナー第3回② 映画「ペコロスの母に会いに行く」
	9日(火)	8:00	美旗高齢者学級 奉仕作業
12月	7日(火)	9:00	まなび体験セミナー第4回「ゲートボール交流会」